

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年 7月 26日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
京都府相楽郡精華町祝園西一丁目32番地1
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
株式会社 タカコ
代表取締役社長 齋藤 圭介
第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社 タカコ 代表取締役社長 齋藤 圭介
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都府相楽郡精華町祝園西一丁目32番地1

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社タカコ 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市信楽町杉山600					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	5	2	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 油圧空圧機器製造業
事業の概要	油圧ピストンポンプ・モータ、関連部品、及びソレノイドバルブの設計及び製造					
従業員の数	300	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	560 台	照明設備	600 台
	コンプレッサ	9 台	空気調和設備	106 台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2	年度	報告対象年度	5	年度
	終了 年度	6	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

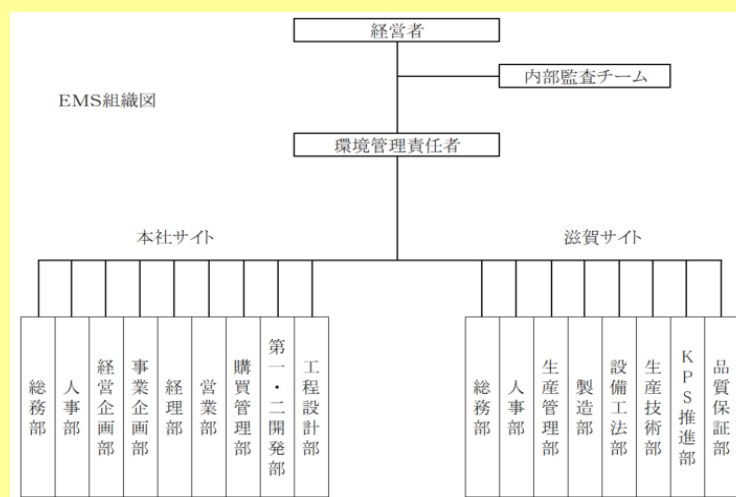
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

基本方針

環境に優しい企業実現のため、

1. 環境パフォーマンスを向上させるために、環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境負荷の低減に努めます。
2. 全従業員一丸となって汚染の予防に努めると共に、環境保護の継続的改善活動を推進します。
3. 関連する環境法令・条例・地域住民との協定を遵守します。
4. 地球環境に配慮した「モノづくり」のため下記の項目に優先的に取り組みます。
 - (1) 水質汚染防止の為、油脂を一滴も工場外へ流出させない
 - (2) 調達・生産・販売における一貫した廃棄物の削減
 - (3) エネルギー使用の削減
 - (4) 森林資源保護の為のOAペーパー使用量の削減
 - (5) 地球環境に配慮した材料・工法・製品の開発及び顧客への提案
5. この環境方針は、当社に出入りする人にも周知徹底すると共に、協力を要請します。また、社外に対してホームページ等で公表し、情報の開示に努めます。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネ対策として、平成11年(1999年)から以下の取組を実施

- ・エアーコンプレッサの廃熱利用による、暖房電力の削減
- ・エアーコンプレッサの台数制御導入、見直し、運転の高効率化、及びエアー漏れ低減
- ・エアーガン、エアーブローの設定圧力の見直し
- ・デマンド制御による、電力管理
- ・太陽光発電の導入により、年間700kWの発電
- ・電力監視システムの導入。(一部)
- ・照明の人感センサー化、及び間引き
- ・水銀灯、蛍光灯の無電力ランプ、LED化
- ・工場屋根の2重屋根により、断熱を図り、エアコンの負荷低減
- ・工場出荷場に風除室設置(2重シャッター)、外気の浸入を減らし、エアコンの負荷を軽減
- ・加工方法の見直しによる、材料のムダを削減、加工及び搬送に関する燃料の低減
- ・荷姿の改善による、運送の効率化
- ・生産拠点変更による海路、空路の短縮

(第2面)

自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	工場の照明をLEDに更新する。	2020年度～2024年度	継続実施中
2	設備導入	工場又は事務所の屋根にペンキ等による熱対策を行う。	2020年度～2024年度	予算見送り
3	設備導入	コンプレッサの老朽化更新により、効率化を行う。	2020年度～2024年度	毎年1台、更新済み
4	設備導入	エアー配管のロスを軽減し、コンプレッサの負荷を軽減させる。	2020年度～2024年度	継続中(途中まで完了)
5				

) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
-----------------	---------------

上記の取組等により、令和元年度(2019年度)を基準年度とし、下記の数値目標の達成を目指します。 原単位「温室効果ガス排出量 / 売上金額」で毎年1%削減 なお、原単位の考え方は次のとおりです。 温室効果ガス排出量は、売上金額(生産量)に大きく影響を受けるため、売上金額を原単位の指標(分母)として設定しました。	2020年度目標(0.259) 2020年度実績【0.261】 2021年度目標(0.257) 2021年度実績【0.220】 2022年度目標(0.255) 2022年度実績【0.157】 2023年度は、減産&関電の排出係数が大きくなったが、目標達成。 2024年度以降も、CO2の総排出量の削減に取り組む年になりたい。
---	--

）温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度
原油換算エネルギー 使用量	kL	1,755	1,754	1,977	1,700	1,496	
温室効果ガス 総排出量	t-CO ₂	2,462	2,376	2,856	2,026	2,415	
エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂	2,462	2,376	2,856	2,026	2,415	
非エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.262	0.261	0.220	0.157	0.223	

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	8.25	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	8,800	8,816	8,226	8,037	7,590	
上記のうち自家消費量	kWh	8,800	8,816	8,226	8,037	7,590	

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R2)年	(R3)年	(R4)年	(R5)年	(R6)年
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	2,336	2,223	2,769	2,108		
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	2,336	2,223	2,769	2,108		
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.334	0.318	0.351	0.311	0.434	
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	テレワークの 推進	・在宅勤務の環境を整える ・在宅勤務の検討	R3～	予定通り実施
2	外部ネット 会議	・出張を控え、ネット会議を行う	R3～	予定通り実施
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(R2)年	(R3)年	(R4)年	(R5)年	(R6)年
保有車輛の数	台	3	3	3	4	4	
上記のうち 次世代自動車の数	台	1	1	1	2	2	
特記事項		マイクロバス1台、社用車3台(内2台ハイブリット車)					

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	環境マネジメ ントシステム (EMS)	環境マネジメントシステム(EMS)の活動	R2～	予定通り実施
2	SDGs	昼休みの食堂で、動画を視聴する	R3～	予定通り実施
3				
4				
5				